

年月日 22 07 19 ページ 17 N.O.

私の景気診断

本社定点観測

景気をどう見通しているか、経営トップ4氏に聞いた。(1面参照)

interview

富士電波工業社長

よこはた としお
横畠 俊夫氏

電機部品の入手困難に

(大阪・大川藍)

「工業炉の受注環境が悪化し設備投資も重に浮いていた。2000年から1年近く受注が止まっていたが、徐々に再開している。引き合いで増えている。2年でも、地方の拠点ごとに地域感が強くなる。以前から中国の景況感との対応が滞り、2年感じだ。

【調達について】
「電機部品の入手が困難になっている。20年後に作りたてを作れなくなる」というのが現状だ。

【調達への影響】
「部品の納期自体が1ヶ月となり、わざわざコストアップになってしまつた。当社が手がける

は。「足元では受注も引き合いで増えている。2年でも、地方の拠点ごとに地域感が強くなる。以前から中国の景況感との対応が滞り、2年感じだ。

【調達について】
「電機部品の入手が困難になっている。20年後に作りたてを作れなくなる」というのが現状だ。

【調達への影響】
「部品の納期自体が1ヶ月となり、わざわざコストアップになってしまつた。当社が手がける

通常6~9ヶ月の納期がするなど、変動が激しくなっています。吸収しながら

1年半伸びている。受いはするが、運るが難い。製品の値上げもお願いしていません。

【政府への要望】
「政府への要望は、対応したい」というようもない。「本来はしないが、受注が不足したとき、特定の業界にだけ供給されないと在庫を厚めに持つてちはには余流がでてならない」といふ現状です。

【コストアップ】
「コストアップになつても、当社が手がける

が、それが作れないといふ構造だ。部材の流通がどうなっているのか調査してほしい」